

埼玉県障害者水泳協会



埼玉県マスコット「コバトン」

2005. 11. 15 第2号 (全国障害者スポーツ大会・岡山大会特集)

事務所 〒355-0007 東松山市野田 1101-2(五嶋方) 0493-24-4371(FAX 専用)

発行責任者 後藤洋子(事務担当) 048-533-6519(FAX 専用)

平成17年11月5日～7日に岡山県にて「第5回全国障害者スポーツ大会輝いて！おかやま大会」が開催されました。県およびさいたま市代表の選手のみなさんおよび監督・コーチ陣は3日から岡山に入り、残すは本番のみ。

思い起こせば5月の選考会からはじまり、合宿や強化練習会を重ねての岡山入り。不安と緊張と、それから大舞台での自分の泳ぎを披露できるわくわく感・・・

今回初めて県代表として選ばれた川越市の杉原さんの感想を紹介します。

「父の故郷で二冠達成！」

川越市 杉原康之

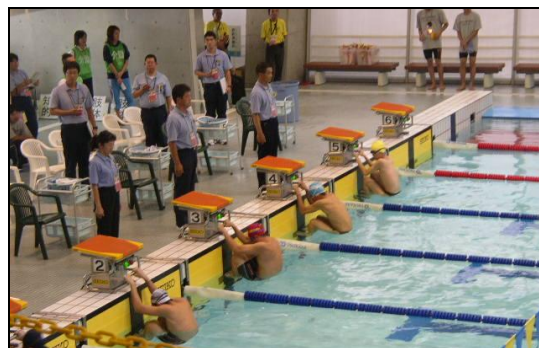
私は今年、念願だった全国障害者スポーツ大会への切符を手に入れました。今年は岡山県で行われ、中でも水泳競技の行われた倉敷市は父の出身地。気合を入れて臨みました。障害区分は23。視覚障害の中では最も重いクラス。100メートル平泳ぎと50メートル平泳ぎにエントリー。幸運にも両種目とも大会記録で金メダルを頂く事が出来、大満足！初日の100メートルは今年に入ってから自己ベストで、翌日の50メートルは大接戦の末、既存の大会記録を12秒近く更新しての金メダル！メダルの裏には点字で「おかやま1」の文字。優勝者にはメダルの他に花束が。メダルを胸に、花束を手を、プールサイドから更衣室まで「おめでとう」の声。正に花道。ちょっとしたスター気分。

決して忘れてはなりません。この栄光の陰

には多くのスタッフのご尽力のある事を。そして、多くの練習の機会をご提供下さった埼玉県障害者水泳協会にも心から感謝を申し上げます。



感想をかいていただきました杉原さんです。23という区分は視力0の区分。ターンやゴールの際には合図棒という道具を使って壁を知らせます。コーチと選手との絶妙なタイミングが大会新記録につながりました。



水泳のルールは健常者の大会と同じです。スタートは1回のみ合図ですので、フォールスタート(フライングのこと)をすると失格です。緊張と静寂のなかで響き渡るピストルの「ピッ」という音がなると、会場全体が声援の声に変わります。



代表選手は2種目競技をエントリーしていません。今回の大会で水泳は3日間にわたっての競技で、選手によって競技種目の時間間隔がまちまちです。監督・コーチは選手のコンディションを最高の状態にして競技にのぞめるよう休息の指示やマッサージを適宜行っています。また、他県の選手の情報収集なども行い、選手の不安感を取り除くことなどメンタル面のサポートもしています。



2つの競技が終わると表彰式が行われました。競技役員も観客も会場全体がメダリストに賞賛の拍手を贈っていました。



会場には選手の家族もたくさん応援に来て

いました。朝早くから会場に出向き応援席を準備して選手や監督・コーチ陣を迎えてくれました。選手の努力はいうまでもありませんが、それぞれの立場でできる精一杯のサポートがあって、今回の多くのメダル獲得と大会新および自己ベスト記録の更新につながったと思います。

今回の「輝いて! おかやま大会」の記録は <http://www.pref.okayama.jp> または「輝いておかやま大会」で検索していただければ記録一覧があります。

詳しい資料が必要な方は事務担当まで連絡ください。

今後の事業

◆ 12月11日(日)15時～17時

水泳クリニック&強化練習会

会場:協栄スイミング深谷

初心者から競技までを対象に募集します。

6コース全部を使用してレベルに応じてレッスンをを行います。

◆ 12月18日(日)12時30分～16時30分
知的障害児・者のための水泳指導(導入編)

指導者研修会

会場:県立川島ひばりが丘養護学校

障害別研修会の第2回目です。日頃の疑問にお答えします。

編集後記

昨年の埼玉大会からもう一年が過ぎたんだと、感慨にふけりながら岡山大会にちょっと出かけてきました。開催県のスタッフ、選手・役員スタッフみんなが輝いていて、その空間にいらただけでも大満足。新幹線の片道3時間半も日頃読めない本も読めて満足。素敵な時間を過ごさせてもらい、ありがとうございました。